

病気への理解深めよう

全国で約1万人の患者がいるとされる「筋強直性ジストロフィー」の療養や、治療薬などについて学ぶセミナーが29日午後1時半から開かれる。会場は盛岡市の「マリオス盛岡地域交流センター」だが、オンラインでも受講できる。会場には東北各県の専門医が集まり患者や家族の個別相談にも応じる。

NPO法人筋強直性ジストロフィー患者会が、病気を知ること適切な治療に結び付けてほしいと主催。第1部はオンライン開催で、国立病院機構の専門医らから筋強直性ジストロフィーの基本的な知識、開発が進む治療薬、支援などの社会サービスについて理解を深める。第2部は盛岡市内の会場で個別相談会を開

29日、盛岡でセミナー オンラインでも

催。本県からは国立病院機構山形病院（山形市）の川並透院長やメディカル・ソーシャル・ワーカーが会場に赴き、患者や家族の相談に応じる。1人30分以内で申し込みが必要。引き続き、現地で患者同士の交流会も開く。

参加費は無料で、申し込みは20日まで。申し込みは、セミナーのウェブサイトに<https://dm-family.net/morioka2023/>

（柳沢明子）